

CGA7 グリーンコーヒー豆エキス末

7種類のクロロゲン酸

自社のコーヒー農園で栽培されたインド産アラビカ種コーヒーを使用

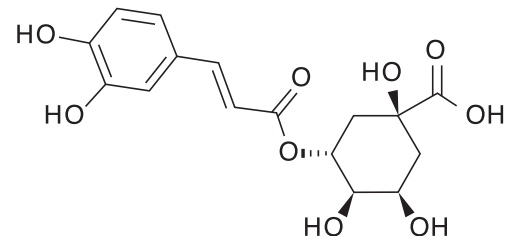


クロロゲン酸の機能

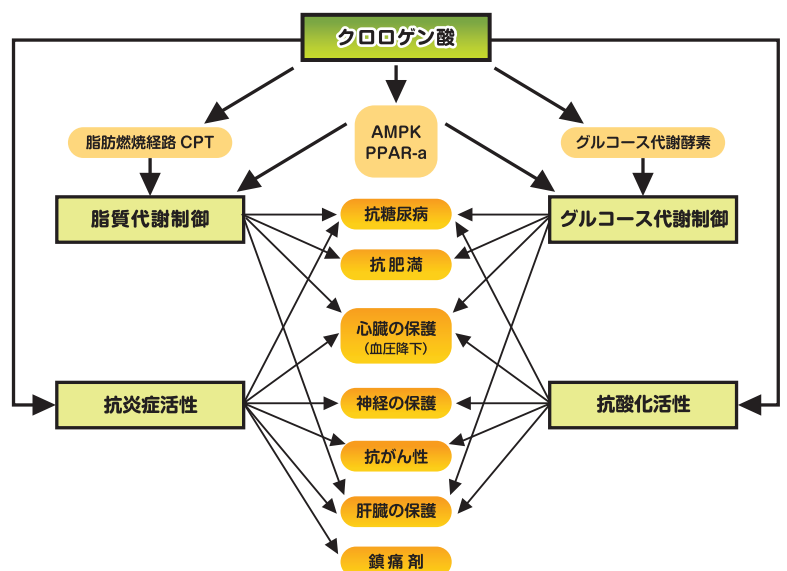
抗酸化性

抗炎症性

脂質
グルコース
代謝制御



クロロゲン酸の健康促進効果



CGA7 グリーンコーヒー豆エキス末



CGA7のウェイトコントロール臨床試験

背景	事前の動物試験にて、CGA7が脂肪代謝を促進し、その経路は肝臓中の AMPK, ACC- α , CPT-1 であることを明らかにした。																		
試験デザイン	二重盲検、プラセボ対照、ランダム化並行群、12週間試験																		
試験計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>処理区</th> <th>配合名</th> <th>処置期間</th> <th>投与量/カプセル</th> <th>投与方法</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>CGA7</td> <td>12週間</td> <td>250 mg</td> <td>食事前1カプセル、2回/日</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>プラセボ</td> <td>12週間</td> <td>250 mg</td> <td>同上</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table>	処理区	配合名	処置期間	投与量/カプセル	投与方法	人数	A	CGA7	12週間	250 mg	食事前1カプセル、2回/日	36名	B	プラセボ	12週間	250 mg	同上	36名
処理区	配合名	処置期間	投与量/カプセル	投与方法	人数														
A	CGA7	12週間	250 mg	食事前1カプセル、2回/日	36名														
B	プラセボ	12週間	250 mg	同上	36名														
対象者	インド男性、非妊娠女性、18-60歳、BMI25-30。有効人数はA郡が35名、B郡が34名であった。																		

結果

体重、体脂肪、ウエスト回りに、統計有意な減少が観察された。

血中総コレステロール、中性脂肪、LDLコレステロールが顕著に減少した。

結論

1日 **500 mg** の **CGA7** が
ウェイトコントロール に **有効** である。

CGA7 グリーンコーヒー豆エキス末のクロロゲン酸組成（自社分析例）

組成	濃度 (%)
3-Caffeoyl Quinic Acid	7.50
5-Caffeoyl Quinic Acid	25.43
4-Caffeoyl Quinic Acid	9.87
5-Feruloyl Quinic Acid	1.76
3, 4-Dicaffeoyl Quinic Acid	2.54
3, 5-Dicaffeoyl Quinic Acid	2.03
4, 5-Dicaffeoyl Quinic Acid	3.43
総クロロゲン酸含量	52.56